

ホームページアドレス <http://www1.com.ne.jp/~mizumaki>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第310号

喜びと新しい出発

広報 岩本

今年の四旬節は、世界中のカトリック教会にとって大変なことになりました。

突然に教皇様の退任が発表されたことには本当に驚きました。その後、新しい教皇様が選ばれました。

今回のバチカンのことは、教会からより一般の報道機関の方が詳しく、テレビや新聞ではカトリック教徒でない人たちも非常な関心を持って見られていたようです。

そして14日朝のニュースで、新しい教皇様が決まったことが、テレビやラジオで報道されました。この日の朝のBS国際ニュースでは、欧米各国のテレビのトップで報道されたことが放送されました。

カトリック教会には12億人の信徒がいますが、国の政治を支配している訳でもなく、イスラム教の一部の国のように政教一致の国もありません。それなのに信仰の中心となる教皇様がどなたになるのが、世界中の関心の的になったのは、キリスト教カトリックの立場がいかに大きいのかを改めて認識させられることになりました。

初めて南米から選出されたこと、イエズス会士であること、枢機卿になっても小さなアパートに住んで教会へは公共交通機関で通っていたこと、貧しい人たちへの司牧に熱心であったことなど、教皇様のこと

を報道でいろいろ知りましたが、今回のように詳しく報道されたのは初めてではないでしょうか。

第二バチカン公会議の公文書には、貧しい人、困っている人の救済を、司牧の中心にするように書いてあります。

スペインのニュースでは、最初の挨拶に出てきた新教皇様の写真と前回と前々回の写真を並べ、今度の教皇様がいかに質素であるのかを報道していました。毎日新聞の解説には、今回選ばれた教皇様はイエズス会なのに、清貧であった「アシジのフランシスコ」の名前を名乗ることに意味があると書いていました。

新しい教皇様の誕生と、主のご復活を二重に祝う聖週間は初めての経験です。心から主の復活と新しい教会の出発を祝いたいものです。

社会問題に向き合う	2面
ペルーからの手紙	3面
委員会報告等	4面
典礼委員会議事録	5面
心の健康セミナーについて	6面
聖書への案内	6面
教会学校のページ	7面
今月の聖人	7面
おしらせ	8面

社会問題に向き合うカトリック教会の基本姿勢

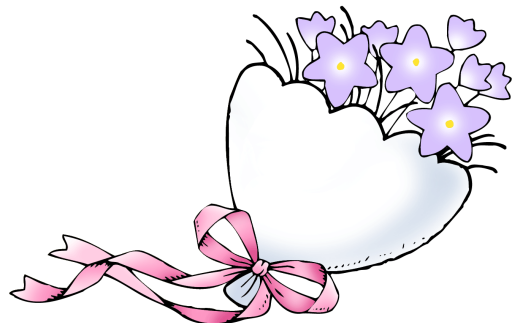
Q7 そもそも聖職者が政治的な発言をすることは許されるのですか？

A 教会には社会に対する使命があり、それは教会の各レベル 一個人、家庭、小教区、教区、国および全世界一 にかかっており、各レベルでの取り組みが必要とされます。社会問題に関して、教会は独自の基準をもっており、それはすべての人への神の限りない愛を前提としています。さらに、一人ひとりの人間の尊厳、そしてその尊厳に由来する生存権、自由の権利、参画の権利が社会において尊重されることを第一の目標とします。それは、可能なかぎりにおいての、この世における神の国の実現です。第二バチカン公会議は、教会が「すべての人の一致のしるしであり、そのための道具」だと数えました。その一致とは抽象的なものや霊的な次元のみのことではなく、具体的に人間の社会にある格差、差別、除外と分裂を乗り越えていくことを意味するのです。キリスト者一人ひとりおよび各レベルの教会共同体はその一致にかかわる使命を受けており、その使命は必然的に社会への取り組みを意味します。『教会の社会教説綱要』は次のように述べています。「キリストのうちに神は個人だけでなく、人間どうしの社会関係もあがります」。これは、この世における社会関係が神の国の一側面をなしていることを意味し、この世における神の国の実現を使命とする教会には、社会関係に関与する必要が

あることを教えているのです。

聖職者とくに司教は、キリスト教信仰の社会的次元を明確にし、社会に関する教会の教えを深く理解し、社会の現実的な状況と照らし合わせて信徒を教え導かなければなりません。「神の国の実現」を特定の社会体制や観念と同一だと考え、教会を特定の政治勢力やイデオロギーと結びつけることはできませんが、社会問題や、社会や政治において取り上げられている課題に関して、教会の教えを説く必要があります。

また、具体的な法案や法律について教会の立場から公に発言する必要もあります。これは、たとえば中絶問題、徴兵制度、核兵器の製造や使用、死刑制度、人種差別、労働問題や労働者の権利、経済と格差の問題、移民対策、少数民族や先住民族の権利、自然破壊など、諸問題に関する教会の見解を明確にする必要があるということです。





CONGREGACION DE LAS HERMANAS DE LA CARIDAD DE JESUS

Av. Horacio Urteaga 636 Jesús María, Lima 11 Perú Telf. 424-0692 e-mail

水巻カトリック教会

レプトン会員の皆様

2012年10月から始まった信仰の年、恵みに満ちた四旬節を世界中のカトリック信者とともに過ごしています。信仰に目覚め、希望と喜びの中で、全てが過ぎ去っても残る“愛の宝”を探し、イエズス様の偉大な愛に感謝する日々お過ごしのことでしょう。レプトン会の皆様方いかがお過ごしでしょうか。

この度もマリアタキ保育園の子供たちのために多額のご支援金を頂きました事、心より御礼申し上げます。2月28日に37万円をドルに交換して、日本に旅行していたシスターが無事にこちらに届けてくれました。有難うございました。

3月4日に、3才前後から5才までの26名の園児で新学期をスタートしました。その後も園児が増え続け35名になりました。昨年新築完成したマリアタキ保育園を使用する事ができるため、特に日本の恩人方からのご協力を頂き、フェンスで囲いを取り付ける工事を始めています。出来るだけ早く新園舎での保育をと考えています。新園舎への移転後、子供達のための給食を保育園で準備することが可能になりますので心待ちにしています。

マリアタキ保育園に子供を預けて、朝早くから金持ち宅での掃除、洗濯、路上での物売りなどをして日毎の糧を求めている貧しい人々、未婚の母親が、安心して仕事ができるよう協力を続ける事が出来ればと思っています。水巻レプトン会の皆様を通して蒔かれた愛の種は、幼子達の心身を成長させ、食事前後には、神様を賛美し、皆様方への感謝の祈りを捧げています。この良い思い出は、小さな胸に刻まれ、大人になっても、より良い人生を送るためのエネルギーとなることでしょう。

レプトン会の皆様方のお祈りと愛の犠牲に支えられての毎日の宣教です。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。お互いに良い時を過ごし、主のご復活を喜びのうちに祝うことが出来ますようお祈り申し上げます。

2年前に東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福を祈り、被災された方々のために心からの祈りを捧げています。

レプトン会の皆様方お一人お一人を神様が豊かなお恵みで満たして下さいますよう、感謝と祈りをこめて。



2013年3月11日

リマの聖女ローザ準管区

管区長 シスターテレジア川端キヌエ

委員会等報告

2013年3月分

3月度小教区委員会

3月17日

1. 前委員会の議事録確認

役員改選について

神父様の異動に伴い、役員・地区委員に1年間延長をお願いした。

2. 議題

●地区集会の報告・他

- ・お茶当番を近隣の若い方に入ってほしい男の人でも十分できる→総会にかける
- ・聖堂の2階から下りるとき、静かに、遅く下りてほしい→鐘が鳴ってから下りている
- ・トイレ掃除用のモップが悪くなっているから交換してほしい
- ・駐車場にラインを引いてほしい→教会横の駐車場は、教会と幼稚園で止め方が違うので、むずかしい。バス駐車場の方は、ラインと車止めもあった方がいいので、検討する
- ・ベンチや椅子が汚くなっている。布やビニールを貼り直したり、ペンキを塗ってはどうか→屋外用のニスを買ったり、ビニールを準備したり、できることをする
- ・祭壇のエアコン(十字架の下)が壊れている→4月中旬に修理(2万円弱)
- ・門の予算が下りた。夏休みに工事を行う

●信徒総会について

5月26日に行う。

司会は高須・青葉地区の柴田さん。

●13年度 年間行事計画(案)について

4月 マヘル神父 水巻教会赴任(7日)

マヘル神父様歓迎会(14日)

マヘル神父様就任式(14日)

司教様が来られる

9月 敬老の祝い会(8日)

10月 聖堂ワックス掛け(6日)

※大人の日曜学校…マヘル神父が来てから、するしないは決める。

※巡礼旅行(日帰り)…10月14日(月・体育の日)に行ってはどうか。

詳しくは、信徒総会で提案・検討する。

3. 各委員会から

典礼委員会より

- ・4月29日に黙想の家での研修会を行います。申し込みは、矢田さんまで。
- ・典礼委員会を今までは、第2か第3水曜日の夜に行っていたが、今回は4月21日(日)に行い、マヘル神父様と話し合って、どこでするか決める。

4. これからの活動

3月24日(日)受難の主日

3月28日(木)聖木曜日 午後7時30分

3月29日(金)聖金曜日 午後7時30分

3月30日(土)聖土曜日 午後7時30分

3月31日(日)復活の主日 午前10時

竹森神父様 送別会

4月7日(日)マヘル神父様 赴任

小教区委員会

4月14日(日)マヘル神父様 歓迎会

5. 竹森神父さまより

7年間お世話になりました。4月3日の午前10時に出発します。その後、マヘル神父が来られる(4月5日午後2時予定)までの間、何かあった時は、事務の馬込さんに連絡を。その後、マヘル神父に連絡をしてもらいます。

2012年度 第9回 典礼委員会議事録

開催日時：2013年3月6日(水) 19:30 場所：信徒会館

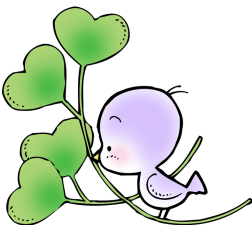
出席者：竹森神父、山本、樽角、三谷、安永、矢田

《報告事項》

1. 年の黙想は、3月2日(土) 14時と19時の2回、3日(日) ミサ後
中村克徳神父(黙想の家)の指導で行われた。
共同回心式は3月3日(日) 中村神父、竹森神父、ブルーニ神父により催行。
*このほか17日子供の終業式・黙想会の際、ゆるしの秘跡にあり。
*希望者は、日曜日ミサ前9:15くらいまでに司祭館でゆるしの秘跡可能。
2. 四旬節の十字架の道行は、3月17日(日)まで。(9:10より)
3. 枝(受難)の主日用ソテツの枝は、3月10日岩本氏により搬入済み。
4. 黙想の家研修会案内チラシを3月号「からしだね」に挿入して配布中
5. 4月の聖歌予定表は3月中旬作成。

《審議事項》

1. 聖週間の典礼(C年)役割分担を聖堂後ろに掲示予定
2. 3月30日(土)復活前夜祭用のローソクの手入れとロウ受けの取り付け
(9時より31日10時ミサ後の送別会用意の合間を利用する)
3. 黙想の家研修会(中村克徳神父):「信仰を持って生きる喜び」(キリストと出会う)
日程:4月29日(昭和の日)(午前10時より午後3時半くらいまで)
目的:身近にいる未信者にも声をかけてキリスト教信仰への理解を深める。
森の散策と十字架の道行、ザビエル聖堂見学など。
内容についてのアイディア募集中。参加者から司会・先唱を決める。
費用:1,000円(昼食代)+300円(入館料)=1,300円
但し、未信者の入館料は教会会計で負担、午前だけ参加は入館料のみ。
申込:申込用紙に氏名と参加形態を記入して典礼委員に提出する。
一旦の締め切り:4月14日(日)
4. 典礼委員会開催日時についての相談会:4月21日(日)ミサ後
開催月、曜日、時間など。定期あるいは不定期開催。
5. 新規典礼委員の募集
6. 典礼委員長の交代は年度途中まで延期。



次回予定 2013年度第1回典礼委員会

4月21日(第3日曜日)ミサ後

心の健康セミナーについて



年4回春夏秋冬の日曜午後、黙想の家ログハウスで精神科医小宮豊師と鈴木神父を囲んで心の健康セミナーを開いています。

2月24日のテーマは「死という危機とそれに対する私たちの霊的態度」でした。

日常では自分の余命を意識することはほとんどありませんが、アベ・マリアの祈りでは、「いまま死を迎えるときもお祈り下さい」と唱えています。突然の災害や事故などでは、霊的に備えることもままなりません、癌やエイズなど長患いでは、死をみつめて生きることになります。

1960年代にホスピス運動が欧米で始まりました。それまでの医療は、死の告知から3ヶ月をいかに過ごすかなどについて積極的には取り組んでできませんでした。死は、医療の敗北のように考えられていたのです。ホスピスでは、痛み、疼痛のコントロール、不快さを取り去るケアが施されます。宗教系のホスピスでは末期になるほど医師や看護師が患者に語りかけるそうですが、無宗教のホスピスでは患者が重篤になるほど人足が遠のき、看護師の燃え尽き症候群があるといえます。

鈴木神父は教戒師として刑務所や拘置所を訪問されますが、死刑囚も死をみつめて生きる人です。ちなみに刑務所は刑期を過ごす人を収容するところで、拘置所は刑の執行を待つ人を収容します。刑の執行は当日言い渡されるそうです。死刑制度の存廃論はあまり活発ではありませんが、統計的にいって死刑は犯罪の抑止にはならないそうです。

次回は5月12日(日)14時から、テーマは「対話に基づく医療と科学的根拠に基づく医療」です。福岡教区報にもお知らせを掲載しています。気軽のご参加下さい。

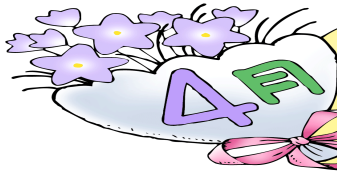
連絡先 矢田 公美



聖書への案内 No.34 ヤコブの手紙

新約聖書の書簡集の最後は、全キリスト者への手紙集です。これらの手紙は、これまでのように特定した地域や教会に向けたものと違って、あらゆる所に住むすべてのキリスト教徒に向けて書いてあります。最初にあるヤコブの手紙は「離散している十二部族」あてられたものです。(1章1節) この離散している十二部族とは、ユダヤ人であれ、異邦人であれ、ローマ帝国中に散らばっているキリスト者を表しています。

著者は、使徒ヤコブではなく、主の兄弟ヤコブ(マルコ6章3節)です。このヤコブはエルサレムの初代司教で、パウロが旅に行った後、エルサレムに報告に行ったのも、このヤコブのところでした。(使徒15章13節) 内容は全般的に説教的なものですが、特に有名なのは病者の塗油の秘跡の儀式につながる記述です。(5章15・16節)

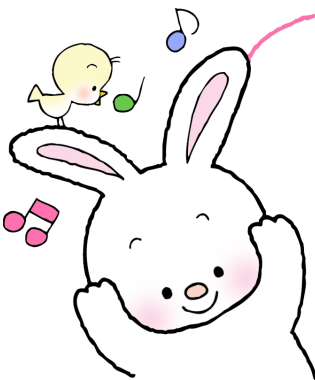


教会学校のページ



2月24日

- 四旬節の間、自分たちができること(がまんすること)考えました。そして、それを実行するように話し合いました。
- 主の祈りをして終わりました。



3月10日

竹森神父様への寄せ書きを、みんなで書きました。

3月17日

子どもの黙想会とゆるしの秘跡がミサ後に、ありました。

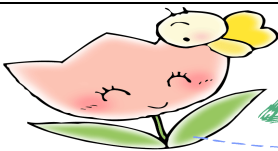


今月の聖人 7日 聖ヨハネ・バプティスタ (ラ・サール) 司祭

1651年-1719年

北フランスの貴族の家庭に生まれたラ・サールは、10歳のときに司祭を志して勉強を始め、27歳のとき司祭になった。貧しい子どもたちの教育の必要を感じ、全財産を投じて貧しい青少年の教育を目的とする修道士会「キリスト教教育修士会」、通称ラ・サール会を創立(1684年)。フランスで、一般民衆の子どもたちに普通教育を行ったのはラ・サールが初めてだった。また、彼は、集団教育という当時としては画期的な変化を教育学にもたらしたことから「近代教育の先駆者」と呼ばれている。しかし当時は、彼の方針はなかなか理解されず、活動に対しての反対もあり多くの苦しみが続いた。

現在、ラ・サール会は、教育のために働く修道会の中で一番大きく、一万人近い会員が世界各国で教育事業に従事している。昭和7年、カナダ管区の修道士が函館に到着し、日本での活動をはじめた。現在は函館の他に、仙台、日野、鹿児島でラ・サール高校やホームなどを経営している。ラ・サールは、学校と教師の保護者である。



4月のおしらせ

★黙想の家 研修会★

日 時：4月29日(月) 10時~15時30分

午前からの参加も可能です

場 所：宗像市 黙想の家

参加費：300円(入館料)1000円(昼食)

スケジュールは、先月号のからしだねにチラシをはさんでいましたので、それをご覧ください。参加希望の方は、チラシの下を切り取って、矢田さんに渡してください。

★納骨堂委員からのお願い★

①4月21日(日)ミサ後、納骨堂利用者集会を開催します。是非ご出席ください。

②昨年(2012年)までの納骨堂管理費をまだ納めていない方は、早めに納入をお願いいたします。

人-ひと

【帰天】安らかに

◇2月1日

中村 信子さん(中間地区)

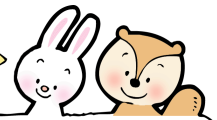
【転出】お元気で！

◇古木 シヲさん(中間地区)

黒崎教会へ



広報委員会からのお知らせとお願い



1、私たちの広報紙「からしだね」は編集委員、印刷担当者、折り込み・発送担当者の手を経て皆様にお届けしています。担当している人たちは協力して作業をこなしていますが、かなり長期にわたって担当していて高齢化は否めません。現在、**印刷担当者**が交代することになっています。作業に協力していただける方を募集します。

2、毎回、司祭が転任するときは、次に来られる神父を事前に皆さんにお知らせしましたが、今回は3月まで若松教会へ応援に行かれていたマヘル神父が来られることになりました。ところが、マヘル神父についての紹介は2月に発行した北九州地区信徒協たよりに、若松に来られている新司祭の紹介として掲載していました。信徒協たよりは聖堂の後ろにまだ残っていますので、これを見ていただくことにして事前の紹介を割愛しました。

3、昨年夏に広報委員会あてに、水巻教会から遠方へ行かれた方から、「懐かしく、からしだねを読んでいます」と言う嬉しいメールが来ました。皆さんの家族・親族で、就職などで引っ越された方に、水巻教会のホームページを見ていただくようにお伝えください。